



南八甲田高原野菜生産組合 野菜合同目揃え会

南八甲田高原野菜生産組合は7月24日、葛川野菜センターで野菜合同目揃え会を開きました。

生産者や市場関係者ら約50人が参加し、キャベツ、白菜、レタス、大根の出荷基準や規格を確認し、品質の均一化を図りました。

同組合では毎年目揃え会を開催し、独自の厳しい選果基準を設けるなど、高品質な野菜を生産できる産地づくりに取り組んでいます。今年も品質のそろった野菜の安定出荷を目指しています。



目揃え会で野菜の規格を確認する生産者



小麦程度統一検査

米穀部は7月13日、黒石3号倉庫で小麦程度統一検査を行いました。小麦「ゆきちから」の品質を確認し、等級を判定しました。

検査員は容積重・形質・水分量などを検査。形質では小麦を一粒ずつ確認し、充実具合などを見極めて等級を判断。検査の結果、全量が1等に格付けされました。



水分量を測定する検査員



熊捕獲用の箱罠を寄贈

7月9日に大沢地区有害鳥獣駆除活動隊へ、8月10日に黒石市へ熊捕獲用の箱罠を寄贈しました。

昨今、熊出没による農作物被害や、生活圏への出没が懸念される中、JA共済地域貢献活動の一環として、地域・農業活性化事業費を活用しました。箱罠の寄贈は今年度3回目になります。

寄贈式では、箱罠の贈呈と、箱罠が正常に作動するかの確認が行われました。



今大介黒石市長へ目録を贈呈する津川博征常務(信用担当専任)



トマト・ミニトマト生産技術 研修会が尾上地区で開催

7月30日、令和8年度第2回トマト・ミニトマト生産技術研修会が尾上地区の組合員・乗田真央さんの園地で開かれ、県内JAの営農指導員や県職員ら36人が参加しました。高品質・安定生産に向けた高温対策や栽培管理について学び、施肥や病害虫防除、肥料の使い分けなど実践的な技術を確認しました。



参加者の質問に答える乗田さん



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤を作ろう